

百尺竿頭

ひゃく しゃく がん とう



札幌市青少年山の家だより

第35号

平成25年(2013年)6月1日発行

札幌市青少年山の家

管理係主任 武田 芳幸

「野牛山の魅力」

青少年山の家活動プログラムのひとつに野牛山（やぎゅうざん）登山があります。

野牛山は青少年山を家の南西に位置し、標高は539.2mで札幌市のシンボルである藻岩山（531m）とほぼ同じ標高です。名前の由来は、連なるもう一つの峰との姿が、ちょうど牛が寝そべっているように見えることからその名がついたそうです。

青少年山の家を出発した後、登山道入口ゲートまでは舗装道路を歩きます。登山道入口ゲートをくぐると、景色が一変。澄んだ水が流れ、心地よいせせらぎの音が聞こえる野牛沢川の横を歩いていきます。その後、距離は短いですが急な坂を登り、長八コースといわれるチシマザサに囲まれた林道を抜け、登山口に辿り着きます。

ここからが登山の本番。緩急がついた登山道は、ロープを使って坂を登る部分もあり、野牛山登山の魅力のひとつと言えます。雷に打たれたイチイ（オンコ）の木が見えてきたら山頂に到着です。

野牛山山頂からは青少年山の家はもちろん、天気の良い日には遠くの山々や札幌の街並みを望むことができ爽快感と達成感をいっそう引き立てくれます。また、季節によつての様々な景色、植物や野鳥の声を楽しむ事ができ、四季折々の表情を見せられます。

所要時間は往復で約2～3時間程度で初心者の方でも十分に楽しめる、軽登山には最適の山です。

青少年山の家にお越しの際は是非、野牛山登山を体験していただき、野牛山の魅力を皆様と共有していければと思っております。



実施事業のご報告

■第1回事前研修会 5月1日(水)

札幌市内小学校の先生方を対象に、利用にあたっての活動についての話や、各種事務手続きについての説明を行いました。参加された先生方はこれから始まる宿泊学習を前に、熱心に話を聞いていました。



■第1回自然観察ハイキング「滝野の春を感じるハイキング」 5月19日(日)

晴天に恵まれた中、第1回自然観察ハイキングを行いました。自然観察ボランティアスタッフのガイドのもと、エンレイソウやミズバショウ、エゾアカガエルのオタマジャクシや卵等、様々な動植物を観察することができました。



利用者アンケートより

▲ストーブがつけっぱなしなので、部屋が乾燥して、のどを痛める人が毎年います。

⇒今年例年に比べ気温が低いため、利用される皆様に暖かくお使いいただけるよう宿泊室の暖房を常時運転しており、その影響で室内の空気が乾燥してしまうという状況です。

利用される皆さまには大変お手数をおかけいたしますが、宿泊室にぬれたタオルをかけていただく等の工夫をしていただくよう、ご協力をお願いいたします。

自然の 豆知識

「どんぐりの発芽」

小さい頃、どんぐりを夢中になって集めました。集めたどんぐりでやじろべえをつくってみたり、コマにしたり。そして家にもって帰ると「虫がわく！」と親に怒られて、なくな自然にかえす…。みなさんにもそんな経験があるのではないのでしょうか。

さて、最近ハイキングコースを歩いていてふと見かけたもの、それはこの写真のどんぐり。

芽が出ているではありませんか！！どんぐりはブナ科の木の実の総称です。

発芽してどんどん成長して木になっていきます。

これが木になるなんて、なんだか不思議な気分。

子どもたちが遊んで自然にかえしたどんぐりも、大きな木に成長した数年後にはどんぐりの実をつけるのでしょね。



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話 (011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>